

科目名		社会科学Ⅱ (Social Society Ⅱ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	機械工学科 経営情報学科	履修	1単位	必修	講義	前期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】高橋正和							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	日本の歴史を、社会的、比較文明的視点から、再構成し、日本を全体として見直す契機とする。 1) 明治近代化は、開発途上国のモデルといわれるが、そうなったその理由を説明できる。 2) 戦国期から江戸にかけて、長い準備期間と成熟期を経て明治を迎える、その過程を理解できる。 3) 封建時代の持つ意義を、思想、法制度、女性問題、諸産業の発展の視点から解明できる。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)			(a)				
関連科目，教科書および補助教材									
関連科目	倫理、日本史、世界史、法学								
教科書	適宜、プリントを配布し、講義の参考となる文献を具体的に例示する。								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎		◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】									
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>潜在見や予備知識を破壊し、新しい知見を得ることが、学問の喜びである。本講義では発見し、学び知る「知の楽しさ」を身につけることを目指したい。プリントを読み、そこからさらに進んで、探求心をふるい起してもらいたい。それは、これからの人生を豊かにしてくれると信じるからだ。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	はじめに	講義の狙いと進め方を説明し、配布資料をもとに、日本の歴史を文化的(経済・政治)、思想的な側面から開明することの意義を理解できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
2	江戸時代とは	ブレモダンといわれる江戸期はどんな時代だったのかを、様々な評価を通して学び知ることができる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
3	江戸の学問	江戸の文系力も、また理系力も世界水準に達していたことを、具体例を通して理解できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
4	和算の達成	和算は江戸期に独自に発展した数学として、極めて高い評価を得ているが、その理由を説明できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
5	土地相続制	相続制を見ればその国が分かるという点から、武家法のもととなった貞永式目について土地相続制度を学び知ることができる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
6	女性の地位	長らく抑圧されてきたといわれてきた女性問題について、女性は日本社会の中でどう位置付けられてきたかを、万葉、鎌倉、江戸期の事例を通して、説明できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
7	封建制度	封建制度が資本主義の前段階であり、準備期間であるとの学説を、ヨーロッパの封建制度と比較しつつ、説明できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 江戸日本の原景	解答説明を通して、もう一度確認する。 名著「逝きし世の面影」を通じて、江戸期の日本の姿をよく理解することができる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
10	江戸期の再評価(1)	さまざまな社会貢献を行った人物を取り上げ、福祉事業の実際の姿を理解できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
11	江戸期の再評価(2)	百姓一揆の実態はどうだったのかを、統計や資料を基に、その意外な事実を把握できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
12	江戸期の再評価(3)	全国規模で行われていた鉱山開発をとおして、江戸時代の総合的な産業力を説明できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
13	江戸期の再評価(4)	ヨーロッパの科学的知識の摂取について、驚異的な理解力を持って受け取って、自分のものにしていった偉大な成果を説明できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
14	江戸期の再評価(5)	江戸時代を通じて各藩に現れた「名君」の条件がなんであるかを理解できる。	配布プリントとノートを見て復習し、小レポートを作成し、次回提出する。
	期末試験		
15	試験返却・解答解説授業評価アンケート	試験解説により理解を確認する。	
<b>総学習時間数</b>			45 時間
<b>講義</b>			25 時間
<b>自学自習</b>			20 時間